

3 和歌山県への新しい「人の流れ」を創造する

- 本県では平成8年以降、連続して転出者が転入者を超過している状況
- 全国に先駆けて進む高齢化と若者流出による生産年齢人口の減少
- 労働人材の流動性が低いことから、やりたいことを実現できない人が増加

本県で「暮らし」「働く」ことを希望する人を受け入れる環境整備が必要
地域や企業のニーズと活躍したい人の希望とをつなげる仕組みが必要

地域社会の中で誰もが役割を持って活躍できる仕掛けを構築

和歌山で暮らす

課題

- 過疎化や高齢化の進展に伴う地域の活力低下
- 地域に必要な商店等の後継者不足

新政策

- 移住・定住大作戦（P30）
- 移住者継業支援（P31）

和歌山で働く

課題

- ICTの進展により、場所にしばられない働き方の認知度不足
- 知識と経験を有する元気な高齢者と活躍の機会とのミスマッチ
- いったん離職した者が正規職員として再就職することが困難

新政策

- 和歌山ワーケーションプロジェクト（P32）
- わかやま元気シニア生きがいバンク（P33）
- 和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト（P35）

3 和歌山県への新しい「人の流れ」を創造する

平成29年度 **34.9億円** (平成28年度 31.7億円 +3.1億円)

和歌山で暮らす	H28 18.9億円 ↓ H29 20.0億円 (+1.1億円)	増 携帯電話やWi-Fiの通信エリア拡大 (+36百万円) 増 交通安全対策の充実 (+35百万円)
和歌山で働く	H28 15.8億円 ↓ H29 19.0億円 (+3.2億円)	増 女性・高齢者の働き方改革の推進 (+68百万円)
和歌山で学ぶ	H28 2.3億円 ↓ H29 4.8億円 (+2.5億円)	増 新たな高等教育機関の設置、誘致 (+212百万円)

3 和歌山県への 新しい「人の流れ」を創造する

◆新規 ◇拡充 ◇継続

・金額単位のないものは千円単位
・()内は昨年度当初予算額

和歌山で暮らす

◇移住・定住大作戦 200,270 (110,910) P30

- ・全市町村にワンストップパーソン(市町村役場移住担当者)を配置し、きめ細やかなアプローチとサポートを実施
- ・最大250万円の移住奨励金をはじめ、「くらし」「しごと」「住まい」の支援を継続

◆移住者継業支援 10,172 (-) P31

後継者のいない地域の「しごと」を引き継ぐとともに、それを移住者ならではの視点で活性化することにより、にぎわいを再生する「継業」を支援

和歌山で働く

◆和歌山ワーケーションプロジェクト 5,546 (-) P32

ICT技術者等の滞在を促進するため、フォーラムやWEBサイト等を通じてワーケーションに最適な和歌山の環境をPR

◆わかやま元気シニア生きがいバンク【再掲】 15,518 (-) P33

80歳現役社会を実現するため、ボランティア、NPO活動など社会参加を希望する高齢者の人材バンクを整備

◆女性活躍企業同盟【再掲】 2,900 (-) P34

女性が安心して働くことができる環境整備に率先して取り組む企業・団体を組織化し、優れた取組を顕彰することで、働き方改革を促進

◆和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト【再掲】

34,922 (-) P35

結婚・出産で離職した女性等の再就職を支援するため、企業との協働による和歌山独自の就活サイクルを構築するとともに、就職相談の体制を充実

◇産業を支える人づくりプロジェクト 34,057 (16,905)

企業と高校が連携した人材育成により高校生の県内就職を促進するとともに、和歌山で働く魅力の情報発信を強化し、県外に進学した大学生等のUターン就職を促進

◇若手中核人材の確保

製造業・IT産業の企業が優秀な理工系・情報系人材を確保できるよう、企業との協働により、学生が借り入れた奨学金の返還金を助成

和歌山で学ぶ

◆産業技術専門学院の機能強化 34,060 (-) P36

時代のニーズに対応した人材を育成するため、県立産業技術専門学院の訓練科見直しを行うとともに、中小企業の在職者を対象とした在職者訓練を充実

◇新たな高等教育機関の充実 226,949 (11,290)

県立医科大学薬学部(H33.4月開校予定)、東京医療保健大学和歌山看護学部(仮称)(H30.4月開校予定)に向けた整備を推進

◇新生 農林大学校【再掲】 47,627 (14,548)

優れた経営感覚をもつ農業者や林業者を育成するため、平成29年4月に農学部アグリビジネス学科と林業研修部林業経営コースを新設

移住・定住大作戦

平成29年度：200,270千円
(110,910千円)



「わかやま暮らし」を希望する都市住民の不安を解消して移住を促進

移住・定住を希望する人

相談
窓口

- 東京、大阪、和歌山に移住相談窓口を常設
- UIJターンフェア・相談会を開催

- ホームページ「WAKAYAMA LIFE」

情報
発信

- **全市町村にワンストップパーソン（市町村役場移住担当者）を配置**
- 移住推進市町村（地域）では、ワンストップパーソンと地域受入協議会（地域住民）が連携し、手厚く移住者を支援

「暮らし」「しごと」「住まい」の支援を**継続**し、移住者を強力にサポート

生活や仕事が不安…

- 40歳未満の若年移住者の負担軽減のため **最大250万円の移住奨励金**を交付
- 「わかやま定住サポートセンター」でのしごと（中途採用企業）、生活（教育・医療・福祉）の情報を一元的に提供
- **移住者の起業支援（最大100万円）**
- **農林水産就業への支援（最大50万円）**

おためしに…

- 現地体験会
- お試し暮らし（短期滞在住宅）
- **現地訪問の宿泊費1/2助成**

住まいはどうしよう…

- 県統一版の「空き家バンク」による空き家情報の提供
- **空き家の家財道具撤去費の助成（最大10万円）**
- **空き家改修の補助（最大80万円）**

赤字の制度は、移住推進市町村（地域）への移住が対象です。

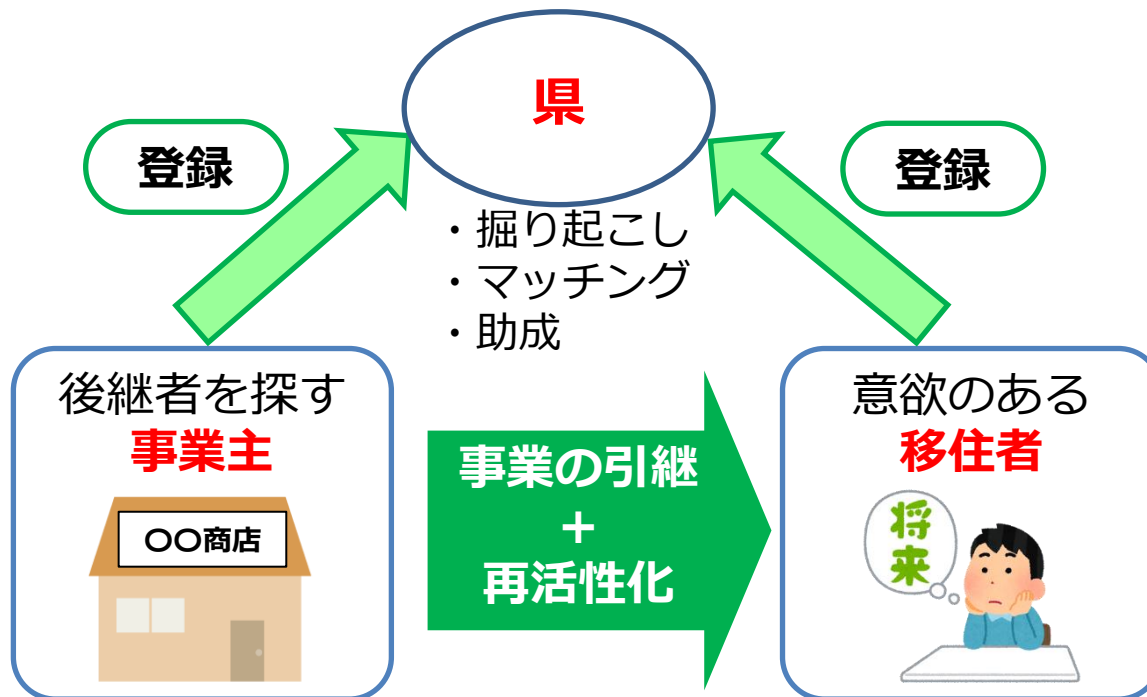


移住・定住へ

移住者継業支援

平成29年度：10,172千円
(新規)

後継者のいない地域の「しごと」を引き継ぐとともに、それを移住者ならではの視点で活性化することにより、にぎわいを再生する「**継業**」を支援



【効果】

移住者：なりわいの創出
事業主：後継者の確保
地域：にぎわいの再生

【対象者】

- ①移住推進市町村（地域）・受入協議会の支援を受けて移住した者
- ②移住した日から3年以内の者
- ③年齢が60歳未満の者

【助成対象経費】

地域の経営資源を引き継ぎつつ、移住者の新たな視点で活性化するために必要な施設・設備等

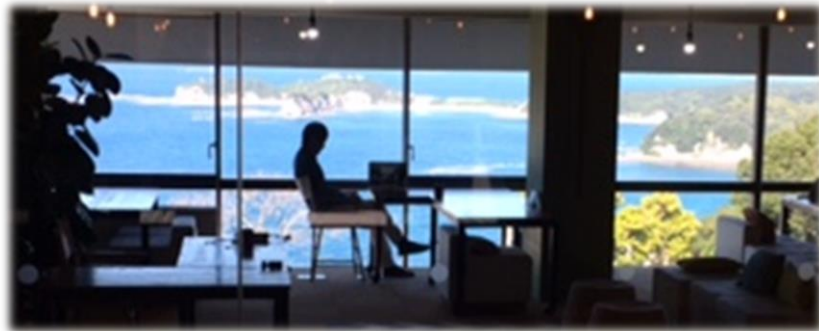
【助成額】

上限 100万円

和歌山ワーケーションプロジェクト

平成29年度：5,546千円
(新規)

ICT技術者等の滞在を促進するため、**ワーケーション**に最適な和歌山の環境をPR



ワーケーションとは…

- ・ワークとバケーションを掛け合わせた言葉
- ・休暇を兼ねて、リゾート地など居住環境等の良い場所で一定期間働くこと

※ICT技術者を中心に世界的に拡大

ワーケーションフォーラム開催

テレワークを導入しているICT企業等を対象に、ワーケーションの先進事例等の紹介や、和歌山の魅力等のPRを行うフォーラムを東京で開催

ワーケーション体験者招へい

情報発信力のあるICT技術者等に和歌山でのワーケーションを体験してもらい、連携したPR活動を展開

PRムービー作成

和歌山に移り住んだ誘致企業社員のライフスタイルや、招へい者のワーケーション体験等を題材としたショートムービーを作成し、PRに活用

WEBサイト開設

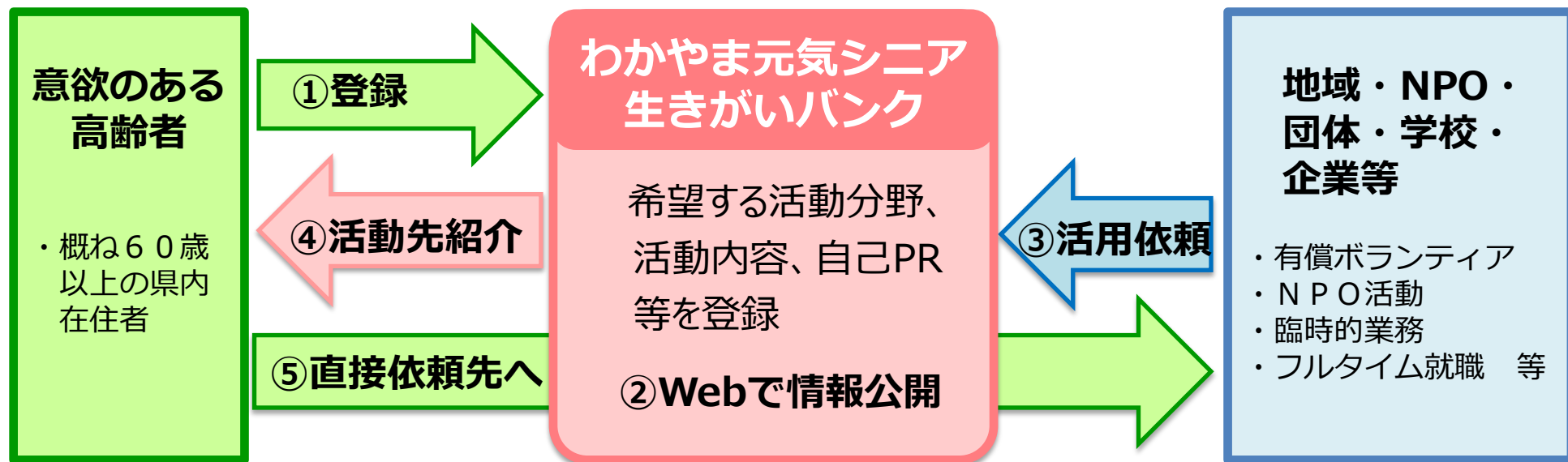
専用サイトを開設し、ICT企業や技術者等に対して、ワーケーション関連イベントや体験模様等を一元的に情報発信

わかやま元気シニア生きがいバンク

平成29年度：15,518千円
(新規)

ボランティア、NPO活動など社会参加を希望する
高齢者の人材バンクを整備

1 システムの構築



2 企業、団体の退職者や一般高齢者のバンク登録を促進

企業、各種団体等の代表者でバンクの趣旨に賛同する人を**生きがいバンク登録推進員**として、登録人材の確保活動を依頼

女性活躍企業同盟

平成29年度：2,900千円
(新規)

女性が安心して働くことができる環境整備に率先して取り組む
企業・団体を組織化し、優れた取組を顕彰

①一定の基準を満たす 企業等を募集

女性活躍のための取組

- ・女性の採用、登用、職域の拡大
- ・働きやすい職場環境づくり

基準を設定

②女性の活躍に取り組む 企業等を組織化

女性活躍企業同盟発足式

- ・証明書の交付
- ・記念講演

③特に優れた取組を行う 企業等を顕彰

女性活躍推進賞表彰式

- ・企業団体部門、個人部門
- #### 女性活躍推進フォーラム
- ・先進的な取組を発信

積極的に取り組む企業を様々な機会を通じてPR

企業間の交流を通じて取組の充実を図ることで、女性が活躍できる環境整備を促進

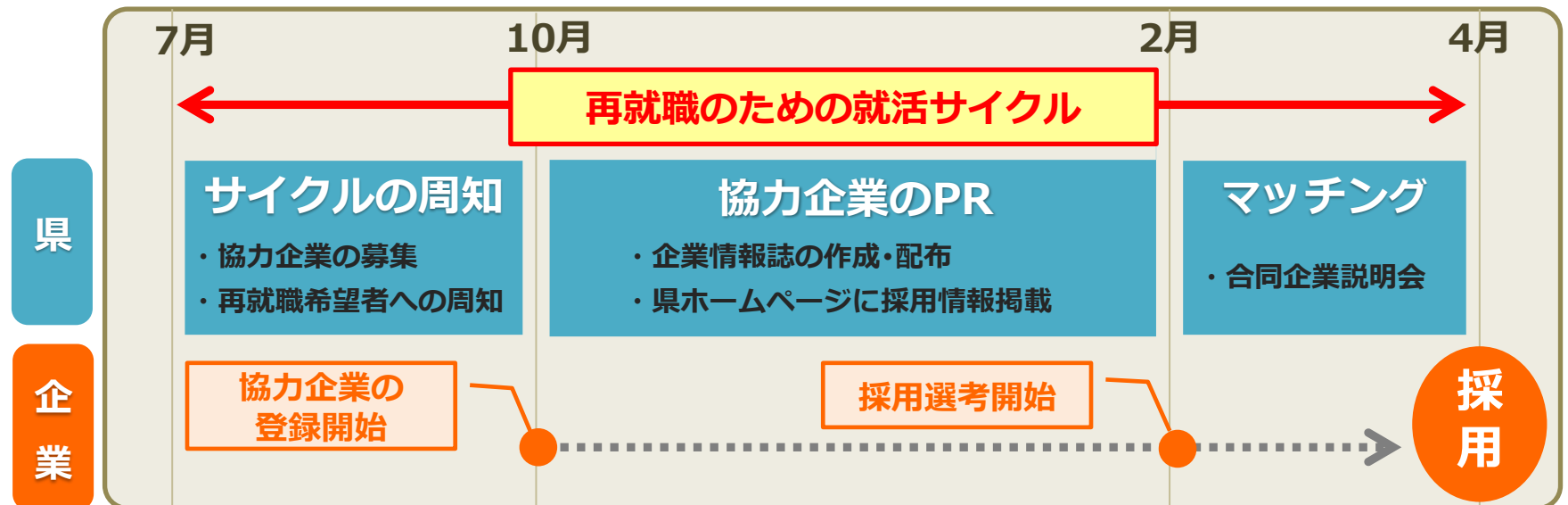
和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト

平成29年度：34,922千円
(新規)

結婚・出産で離職した女性等の再就職を支援するため、和歌山独自の
就活サイクルを構築

1 企業との協働による就活サイクルの構築

2月を就活月間と設定し、求人を集めることで、再就職希望者の就活を後押し



2 再就職を応援する拠点の整備

「ジョブカフェわかやま」
の機能拡充

- 再就職の不安を払拭するための**就職相談の実施**
- 就活に必要な知識を身に着けるための**セミナーの開催**

産業技術専門学院の機能強化

平成29年度：34,060千円
(新規)

時代のニーズに対応した人材を育成するため、**県立産業技術専門学院の訓練科見直し**を行うとともに**在職者訓練を充実**

1 訓練科見直し

	学科	改革の内容	改革年度
和歌山	自動車工学科	定員を増員〔20人⇒25人〕 ハイブリッド車等に対応する訓練を充実	H30
	メカトロニクス・CAD科	デジタルものづくり訓練を強化 (マシニングセンタの加工プログラム、3DCADなど)	H29
	デザイン木工科	中卒2年課程から高卒 1年課程に変更	H30
	総合実務科 (知的障害者)	資格取得対策を充実 (介護初任者・ビルメンテナンス等)	H31
	学科	改革の内容	改革年度
田辺	情報システム科 (仮称) 【新設】	プログラム中心の学科をBig・Uに新設〔2年課程/定員10人〕 (基本情報技術者資格以上の取得を目標)	H30
	自動車工学科	定員を増員〔15人⇒20人〕 ハイブリッド車等に対応する訓練を充実	H31

2 在職者訓練の充実

県内の中小企業の在職者を対象に、技術力向上や資格取得対策などの短期研修を充実